

外国語教育メディア学会（L E T）関西支部中学高校授業研究部会・  
京都教育大学英語の教え方研究会 主催

## 2016年度 1月例会のご案内

日 時： 2017年 1月 8日（日）13：30～17：00

会 場： 京都教育大学 CALL教室（1号館B棟4階）  
（アクセスは<http://www.kyokyo-u.ac.jp/>から）

参加費： L E T会員・・・・・・・・・・・・・・・・・・無料  
京都外国語大学英語教育研究会会員・・・・300円  
学生・・・・200円  
一般・・・・500円

問い合わせ先： 西本有逸（京都教育大学） yuitsu@kyokyo-u.ac.jp  
鈴木寿一（京都外国語大学） juichisuzuki0011@gmail.com

13：10～ 受付  
13：30 開会

小中ジャンプを考える：発話と概念の拡がりをめざして

京都教育大学 西本有逸

小中連携では小中ジャンプをめざしたい（真逆の小中ドボンは避けたい）。何が飛躍するのか。学びが自覚的になり、概念的思考ができるようになることが飛躍の一つであろう。発話と概念の拡がりをめざして、*Hi, Friends! 2*の英文を高度化するワークショップを行うとともに、中学校1年の教科書の導入部分も検討したい。

### 途中休憩

小学校英語で大切にしたいこと：指導案作成から授業実践まで

京都教育大学附属京都小中学校 水野和弘

勤務校では、小中一貫9年間にわたる英語科カリキュラムを完成させ、それに則り、学習内容を身に付けるためにスパイラルな学習を進めている。また、1年生から6年生において、週3回各15分のモジュール学習（歌・読み聞かせ・語彙・フォニックス）も導入してきた。それぞれの発達段階に応じた学習をする中で、より深く英語に浸り、身体と情動の動きを大切にしたい授業を展開している。

小学校英語で大切にしたいことは、単元構想や指導案作成はもちろん、授業実践に至るまで多数ある。今回は、勤務校の初等部（1年生から4年生）での実践例を足掛かりに、指導案の作成の仕方や授業実践のポイントを紹介する。その中で小学校の英語科の授業において、特に大切にしたい幾つかを参加者の皆様と共有し、意見交流を通して、今後のよりよい授業のヒントを得る機会としたい。

17:00 閉会

**お願い：** 最近、メールアドレスを変更される方が増えておりますため、案内をお送りしても100名分以上が戻って来ます。今後、メールアドレスを変更される場合は [juichisuzuki0011@gmail.com](mailto:juichisuzuki0011@gmail.com) までお知らせください。

今後の予定

3月18日（土）・19日（日）

第23回中学高校教員のための英語教育セミナー 於）キャンパスプラザ京都  
テーマ「英語科におけるアクティブラーニング（AL）大研究」

講師：大阪府立鳳高等学校 溝畑保之